

日本語用論学会第25回大会（2022年11月26日～27日）大会発表賞の受賞者決定

受賞者

畑和樹氏（東京都市大学デザイン・データ科学部 准教授）

研究発表

「他者の巻き込みによる組織としての報告の実践：学校協議会報告の事例にみられる参与役割の複雑性」

受賞理由

本発表は、会話分析を活用し、学校運営協議会という複数当事者による組織活動への参与役割の複雑さに焦点をあて、会議報告における参与役割は、報告の（直接的な）受け手になるか否かではなく、参与者の行動連鎖があつてこそ明らかになることを示し、そこから「参与」という概念をとらえ直す意義を提起した点に独創性がある。批評的視点からの先行研究の概観に基づき、映像データの精緻な分析から制度的多人数会話における相互行為を詳らかにした点は、大いに評価できる。他にも、組織内多人数会話で傍参与者が関わる「巻き込み」という現象について、参与枠組を用いた分析を通じた検証がとても興味深かった、発表者による聞き手のあいづちや視線などを含む緻密な分析は質が高いなど評価する声が聞かれた。さらに、論理立てた説明により発表内容がつかみやすかった、質疑への応答では、常に研究に対する考察を深めており、議論を通じてそれを発展させていきたいという態度がよく現れていて好感が持てたとの高評価を受けた。

以上の理由により、畑和樹氏を本学会第25回大会の大会発表賞の受賞者に決定する。

日本語用論学会 会長 滝浦真人
大会発表委員長 西田光一
大会発表賞小委員会委員長 竹田らら